



令和6年1月15日(月)

第17回 のしろ市民まちづくりフォーラム開催 編

のしろ市民まちづくりフォーラムは、今年度で17回目を迎えました。第15回も能代市旧料亭金勇の大広間で開催しましたが、今回は通信設備が整ったことから、WEB配信と併用で行いました。

テーマは「風景街道による持続的な地域づくりと広域連携」です。各講師から、それぞれの活動を通じた地域づくり事例をご紹介いただきました。その後は、参加者からの質問も交えながら、ディスカッションを行いました。

ご講演第1部では、愛知県田原市企画部企画調整監の志賀勝宏氏より、田原市が主体となって実施している日本風景街道事業による「田原市の街づくり」や、活動を通じた官民一体の繋がりについてご紹介いただきました。

第2部では、NPO地域づくりサポートネット会長でNPO法人日本風景街道コミュニティ理事でもある田中孝治氏より「互産互消による地域往来」と題し、行き来する土地のものをお互いで消費する「互産互消」による地域ネットワークの構築と効果、目指すところ等をご紹介いただきました。

話題提供では、能代市中心市街地活性化室長の小林淳室氏に、現在取り組んでいる道路空間利用(ほこみち事業)についてご紹介いただきました。

ディスカッションでは、人と人の繋がり的重要性を中心に議論がなされ、行政側として「どうやったらできるのか」、また、民と官ではなく、あくまで個々の繋がりとしてできることを考えることの重要性を改めて認識しました。

今回は一般聴講者とWEB聴講者合わせ80名の方に参加いただき、有意義なものとなりました。今後は、フォーラムを通して得たものを形に出来るよう、個人としても積極的に活動参加していきたいと思っています。

文：長崎 勇



会場は「木材の活用」を象徴する建物、旧料亭「金勇」の大広間です。ステージはまさにひのき絵舞台です。



志賀さんのお話にあった事務局体制やアクションプランなどはどれも羨ましいものでした(上)。田中さんからは、風景街道は大きさ自在の便利な風呂敷として上手に使うべきとのお話もありました(下)。



小林さんからは冒頭、ご自身が入庁間もない頃のネットワークのごく初期の取り組みが紹介されました。今では当たり前になっている会場巡回バスやスタンプラリー、道路の占有利用も当時は初めてのことばかりで大変でした。